

# 平成 29 年 度

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

## 事 業 計 画 書

# 平成29年度事業計画

## 1. 事業活動方針

平成29年度は平成27年4月に施行された介護予防・日常生活支援総合事業の事業開始猶予期間の最終年となります。市川市では同事業を平成28年3月に開始し、福祉公社でも事業開始当初から事業所指定を受け実施しております。その他の基準を緩和した訪問型サービスにつきましても、市より開始の通知がありましたら、速やかに対応できるよう検討を進めております。

さらに、昨年度に策定した第二期中期計画に基づき、様々な仕組みの再検討を進めており、平成29年度は次のとおり事業運営を進めてまいります。

組織体制は、キャリアパスの一環として「専門スタッフ」の配置をするほか、人材確保の新たな雇用形態として「常勤訪問介護員」の導入をいたします。

「専門スタッフ」は一定以上の役職を担った職員に対し、基準を設け本人の希望により組織のラインではなく、これまでのスキルを活かした専門のスタッフとして、各種業務を横断的に担当していくもので、中期計画の企画・開発部門の設置につきましても、新たな課や係を設置せず、専門スタッフの中に担当を置くことを想定しております。

次に、重点課題として防災計画・事業継続計画の見直しをいたします。

具体的な取り組みとしまして、すでに作成されている事業継続計画（BCP）を実際の業務内容やお客様の状況等も含め、より実情に即した実効性のある計画に見直すこと及び初動体制の整備、また、地震災害発生時に市川市内全域で活動する全職員の安否を迅速に確認することができる「安否確認システム」の導入検討を、それぞれのプロジェクトにおいて取り組んでまいります。

また、重点事業としまして高齢者・障害者・児童等に対するホームヘルプサービスの提供に係る各事業を位置付け、ニーズが高まってきている医療的ケアの積極的な受け入れを実施してまいります。さらに、国が示している地域共生社会の考えに沿い、さまざまな支援が必要な方々が住み慣れた地域の中で安心して生活していただけるよう、制度による縦割りではなく、柔軟に総合的なサービス提供の実現に向け、地域包括支援センターや基幹相談支援センター等との連携強化に努めてまいります。

最後に、平成29年度は平成30年4月に実施される大幅な制度改正及び報酬改定に対応できるよう、一つ一つの業務等に真摯に向き合い、職員同士のコミュニケーションを密に図りチーム力を高めてまいります。

## 2. 事業計画

### (1) 継続事業

#### ① 地域包括支援センター運営事業（事業所名：高齢者サポートセンター八幡）

市川市から委託を受け、地域に根付いた総合窓口として、高齢者等が、「自分らしい暮らし」を安心して、健康的に営めるよう必要な援助を行います。そして、地区特性を生かした生活支援・介護予防・社会参加の支援体制作りを行い、市川市の地域包括ケアシステムの実現を目指していきます。

担当地区：八幡・南八幡

#### ② 介護予防ケアマネジメント事業（地域包括支援センター 包括的支援事業）

要支援・要介護状態になる恐れのある担当地区高齢者に対し、訪問型及び通所型サービス、平成29年3月新設の基準緩和型通所サービスや地域資源等を活用して、生活機能の維持向上を目指したケアマネジメントを行います。

[目標値]

・指標	利用者件数
・平成29年度	92件/月 (直営：40件/月・委託：52件/月)
・平成28年度見込	54件/月 (直営：25件/月・委託：29件/月)

#### ③ 介護予防支援事業（地域包括支援センター 指定介護予防支援事業）

要支援の認定を受けた方々に対し、効果的かつ効率的な生活支援・介護予防・社会参加につながる介護予防サービス計画を作成し、状態悪化を防ぐ支援を行います。また委託先の居宅介護支援事業所との連携を図り、悪化時の対応も可能とした支援を行います。

[目標値]

・指標	利用者件数
・平成29年度	42件/月 (直営：10件/月・委託：32件/月)
・平成28年度見込	79件/月 (直営：25件/月・委託：54件/月)

④ 家族介護支援事業 (地域包括支援センター その他事業)

地域包括支援センター運営事業の一環として行われる事業として、平成28年度から引き続き市川市より委託を受けて実施します。

[目標値]

- ・年3回(予定)

⑤ 介護職員初任者研修事業 (旧:2級ヘルパー養成研修事業)

訪問介護員の不足は国の重点課題にもなっており、福祉公社においても年々深刻な問題となっていることから、訪問介護員の人材確保のため、東部ヘルパーステーションの多目的ルームにおいて前年度と同様年2回実施します。

⑥ ペーパーヘルパーチャレンジ講座

就労支援及び介護職の人材不足解消策として、潜在する介護資格保有者の掘り起こしを目的とした事業です。昨年に引き続き、今年度も開催場所を変えて3回実施いたします。

⑦ 介護予防ケアマネジメント事業

平成29年度は、市川市における日常生活支援総合事業開始2年目を迎え、サービス種別も追加されます。高齢者サポートセンターとの連携を図りながら、ご利用者を中心に、生活支援・介護予防・社会参加につながるケアマネジメントを行います。

[目標値]

- | ・指標       | 利用者件数 |
|-----------|-------|
| ・平成29年度   | 7件/月  |
| ・平成28年度見込 | 6件/月  |

⑧ 介護予防支援事業

ご利用者を中心に、高齢者サポートセンターとの連携を図りながら、介護予防の視点でのケアマネジメントを行い、サービスを利用することで自立支援につながるケアマネジメントを行います。

[目標値]

- | ・指標       | 利用者件数 |
|-----------|-------|
| ・平成29年度   | 18件/月 |
| ・平成28年度見込 | 23件/月 |

⑨ 要介護認定調査事業

平成29年度も引き続き、福祉公社契約利用者だけでなく、契約者以外の要介護認定調査も継続的に行うことで、限られた時間内で対象者の持つ様々な側面を的確にアセスメントする技術を高めていきます。

[目標値]

・指標	実施件数	市川市内	他市町村
・平成29年度		96件/年	60件/年
・平成28年度見込		209件/年	40件/年

⑩ 養育支援訪問事業

子育て支援に係る市の事業であり、お母様の体調不良等により育児や家事を行うことが困難な時にヘルパーが訪問し、安心した育児生活ができるよう支援するため、平成28年度に引き続き市川市より委託を受けて実施します。

⑪ あんしん電話受信センター運営事業

65歳以上の独居、高齢者世帯または障害者に対しあんしん電話を設置し、設置者からの通報内容に応じ救急車の要請、支援員の派遣、その他多岐にわたる相談業務を実施する事業であり、平成28年度に引き続き市川市より委託を受け実施します。

⑫ 緊急時支援員派遣制度事業

あんしん電話の設置者の中で要件を満たし、契約を締結したご利用者から通報があった場合に支援員を派遣する事業であり、平成28年度に引き続き事業を実施します。

(2) その他事業

① 居宅介護・重度訪問介護事業

i) 東部ヘルパーステーション

ご利用者のニーズ等に適切に応え、生活全般にわたる支援が出来るよう、計画相談支援事業所等との連携を積極的に強化してサービスを提供します。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	215,429単位/月
・平成28年度見込	178,932単位/月

ii) 西部ヘルパーステーション

ご利用者が24時間安心してご自宅で過ごせるよう、夜間担当の巡回ステーションと共に計画相談支援事業所等との連携を密に図り、サービスの検討と提供に努めます。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	601, 241 単位/月
・平成28年度見込	490, 714 単位/月

iii) 南部ヘルパーステーション

障害者への理解や対応のスキルを向上させ、自立支援に資するサービスを提供し、ご利用者・計画相談支援事業所より満足を得られるよう努めます。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	175, 568 単位/月
・平成28年度見込	131, 619 単位/月

iv) 北部ヘルパーステーション

自立支援に資するサービスを提供するため、計画相談支援事業所及び関係機関との連携を強化していくことで、選ばれる事業所を目指します。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	394, 344 単位/月
・平成28年度見込	348, 235 単位/月

② 計画相談支援事業

ご利用者が生活する中で遭遇する様々な課題や困難なことを共に考えながら、安心して暮らしていけるようなプランを作成していきます。

[目標値]

・指標	利用者件数	報酬件数
・平成29年度	61 件/年	344 回/年
・平成28年度見込	51 件/年	293 回/年

### ③ 障害児相談支援事業

子どもたちの成長過程に伴う変化を踏まえ、将来を見据えたプランをご利用者やご家族と共に検討していきます。

[目標値]

・指標	利用者件数	報酬件数
・平成29年度	11件/年	88回/年
・平成28年度見込	8件/年	66回/年

### ④ 居宅介護支援事業

平成29年度は、主任介護支援専門員3名を含む8名体制とし、人材育成および専門職チームとして係内連携体制を維持していくことで、居宅支援係全体の効率化を進め、利用者満足の上昇と前年度と同程度の目標値を目指します。

[目標値]

・指標	利用者件数
・平成29年度	218件/月
・平成28年度見込	220件/月

### ⑤ 訪問介護事業

#### i) 東部ヘルパーステーション

医療的ケアを積極的に受け入れ、チームケアを徹底するため、居宅介護支援事業所と密なる連携の下、自立支援の基本理念を踏まえたサービスを提供し選ばれる事業所を目指します。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	411,020単位/月
・平成28年度見込	391,468単位/月

#### ii) 西部ヘルパーステーション

ご利用者の「住み慣れた我が家で生活を続けたい」というニーズに対応するため、安心して24時間過ごしていただけるよう、夜間対応型訪問介護事業を実施している巡回ステーションと連携しサービスの検討と提供に努めます。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	598,593単位/月
・平成28年度見込	516,877単位/月

iii) 南部ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所からの依頼に迅速に対応し、土日・夜間等も積極的に受け入れることで、選ばれる事業所を目指します。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	423, 137単位/月
・平成28年度見込	389, 950単位/月

iv) 北部ヘルパーステーション

広範囲に渡る担当地域にお住まいのご利用者や居宅介護支援事業所からの依頼に、機動力を発揮し迅速に応えることで、信頼される事業所を目指します。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	433, 704単位/月
・平成28年度見込	392, 587単位/月

⑥ 介護予防訪問型サービス（総合事業）

i) 東部ヘルパーステーション

地域包括支援センターとの連携により、ご利用者の個性や状態等を踏まえた自立支援に資するサービスの提供を目指します。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	73, 213単位/月
・平成28年度見込	72, 283単位/月

ii) 西部ヘルパーステーション

ご利用者が自立した生活を過ごせるように、地域包括支援センターとの連携により地域に密着したサービスを目指します。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	54, 112単位/月
・平成28年度見込	16, 316単位/月



iii) 南部ヘルパーステーション

ご利用者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活が過ごせるよう、地域包括支援センター等と連携を図り、より地域に密着したサービス提供に努めます。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	65,536単位/月
・平成28年度見込	23,197単位/月

iv) 北部ヘルパーステーション

住み慣れたご自宅で安心していきいきとした生活が継続できるよう、ご利用者の多様な生活ニーズに寄り添う適切なサービスの提供を目指します。

[目標値]

・指標	報酬単位
・平成29年度	69,682単位/月
・平成28年度見込	64,974単位/月

⑦ 夜間対応型訪問介護事業

市内の夜の安心をサポートしている事業所として、24時間安心できる在宅生活を支えるために、いざという時に連絡・相談が出来る場として随時派遣を中心に迅速で適切なサービス提供に努めます。

[目標値]

・指標	利用者件数	派遣回数
・平成29年度	100件/月	280回/月
・平成28年度見込	94件/月	304回/月

⑧ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

近隣の住民や商店等の協力を頂きながら「自分らしい生活」の実現のため、日中は生活リズムに沿ったサポートを行い、夜は安心して休んで頂けるように個々の状況に合わせたサービス提供に努めます。

目標値については単位数が月単位で介護度毎の設定となっており、今年度より件数とともに単位数も指標として参ります。

[目標値]

・指標	利用者件数	目標単位数
・平成29年度	11件/月	173,255単位/月
・平成28年度見込	8件/月	

⑨ サービス付高齢者向け住宅事業

管理会社の都合により、平成28年12月末で事業廃止となる。

⑩ 介護サポートサービス事業

適切なアセスメントにより、通院に係るサービス・子育て・緊急通報等の制度外の多様なニーズに応えられるサービス提供を目指します。

[目標値]

・指標（ふくふく）	活動時間
・平成29年度	7,200分/月
・平成28年度見込	7,016分/月